

国際交流・社会貢献の概要

1. 国際交流

<協定相手校>

カセサート大学（タイ）

- ・カセサート大学理学部と長浜バイオ大学バイオサイエンス学部との間における学術交流協定（2004.11.7）
- ・長浜バイオ大学とカセサート大学との間における学術交流協定（2013.1.28）
- ・長浜バイオ大学とカセサート大学との間における学生交換覚書（2013.1.28）
- ・長浜バイオ大学バイオサイエンス学部とカセサート大学工学部との間における学生インターンシップ覚書（2013.1.28）
- ・インターンシップ生4名派遣（2016.9）
- ・インターンシップ生1名派遣（2017.3~12）

東北大学（中国）

- ・長浜バイオ大学と東北大学との学術交流に関する協定（2008.4.12）
- ・東北大学中荷生物医学与信息工程学院・長浜バイオ大学 覚書（2008.6.13）
- ・長浜バイオ大学と東北大学間の「3+1型」学生交流協定（2011.8.29）

東北大学（中国）・滋賀医科大学

- ・東北大学・長浜バイオ大学・滋賀医科大学三大学学術交流協定（2010.8.8）
*この協定は、長浜バイオ大学のバイオテクノロジー・バイオインフォマティクス、東北大学のバイオ医学情報、滋賀医科大学の医学という三大学が特色とする専門分野を融合し、「バイオ医療学」という新しい学術研究と教育に資するために、締結したものである。

2. 大学間連携

<協定相手校>

滋賀医科大学大学院医学系研究科

- ・戦略的大学連携支援事業の共同実施に関する協定（2008.9.24）
→ 平成20年度文部科学省「戦略的大学間連携支援事業」採択
- ・滋賀医科大学と長浜バイオ大学との教育研究の連携協力に関する協定（2009.2.16）
- ・滋賀医科大学大学院医学系研究科と長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科との間における特別研究学生交流協定（2010.4.1）

滋賀医科大学・東北大学（中国）

- ・東北大学・長浜バイオ大学・滋賀医科大学三大学学術交流協定（2010.8.8）
＊この協定は、長浜バイオ大学のバイオテクノロジー・バイオインフォマティクス、東北大学のバイオ医学情報、滋賀医科大学の医学という三大学が特色とする専門分野を融合し、「バイオ医療学」という新しい学術研究と教育に資するために、締結したものである。

奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科

- ・長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科と奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科とのバイオサイエンス分野における相互協力に関する包括協定（2010.9.1）
- ・長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科と奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科との間における「特別研究学生」の受入れに関する協定（2014.6.17）

北海道大学理学部

- ・公開臨海臨湖実習に関する協定（2011）

立命館大学

- ・立命館大学と長浜バイオ大学との教育研究連携に関する覚書（2007.2.1）

滋京奈地域産学協働連携協議会（2015.4.1）

- ・産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマA】
「滋京奈地区を中心とした地域社会の発展を担う人材育成」（2012-2014）

滋京奈地域インターンシップ推進協議会

- ・産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】
「滋京奈地域における産学連携インターンシップ等による人材育成」（2014-2015）

＊文部科学省の補助事業終了後の後継事業組織として、上記2協議会を発展的に統合し、以下の滋京奈地域人材育成協議会を発足しました。

滋京奈地域人材育成協議会（2016.7.1）

【連携大学】滋京奈地域16大学

滋賀大学、奈良女子大学、滋賀県立大学、京都府立大学、奈良県立大学、聖泉大学、京都外国語大学、京都学園大学、京都産業大学、京都ノートルダム女子大学、京都文教大学、龍谷大学、帝塚山大学、天理大学、奈良佐保短期大学

【連携した産業界等】

公益社団法人関西経済連合会、経済産業省近畿経済産業局、関西広域連合、長浜商工会議所、彦根商工会議所、一般社団法人京都経済同友会、京都商工会議所、京都経営者協会、一般社団法人奈良経済産業協会、奈良商工会議所、奈良県中小企業団体中央会

3. 高校大学間連携

<協定相手校>

近江兄弟社高等学校

- ・長浜バイオ大学と近江兄弟社高等学校との高大連携事業に関する協定（2010.12.14）

岐阜県立岐阜農林高等学校

- ・長浜バイオ大学と岐阜県立岐阜農林高等学校との高大連携事業に関する協定（2011.3.30）

滋賀県立虎姫高等学校

- ・長浜バイオ大学と滋賀県立虎姫高等学校との高大連携事業に関する協定（2013.3.21）

<連携講座の実績（リンク）>（過去3カ年）

2017年度 http://www.nagahama-i-bio.ac.jp/?post_type=withhighschool&p=18125

2016年度 http://www.nagahama-i-bio.ac.jp/?post_type=withhighschool&p=9851

2015年度 http://www.nagahama-i-bio.ac.jp/?post_type=withhighschool&p=9670

4. 企業との教育研究に関する連携

<協定相手企業>

タカラバイオ株式会社

- ・学校法人関西文理総合学園長浜バイオ大学とタカラバイオ株式会社との教育研究に関する協定（2013.2.18）

長浜信用金庫

- ・学校法人関西文理総合学園長浜バイオ大学と長浜信用金庫との産学連携基本約定（2006.10.4）

長浜商工会議所

- ・長浜商工会議所・長浜バイオ大学連携事業協定（2010.2.1）

大垣共立銀行

- ・産学連携に関する協定（2013.12.17）

滋賀発成長産業発掘・育成コンソーシアム（2017.4.12）

5. 産官学連携

長浜サイエンスパークは、2002年バイオテクノロジー関連企業の集積を図ることを目的として46,101㎡の工業団地として整備された。その翌年の2003年4月に長浜バイオ大学は開設し、その中核として役割を担うことが求められた。その後、企業誘致は進まなかったが、2007年の法改正により全ての区画の企業進出が決定し、2012年度に、6区画すべての企業が操業を開始した。

それらの組織として「長浜バイオクラスターネットワーク」が創設され、長浜バイオ大学、長浜市、長浜商工会議所、進出企業が連携を取り「導く（企業誘致）、育てる（インキュベート）、活かす」施策を実行に移し地域経済の活性化を図っている。長浜バイオ大学の研究推進機構は、サイエンスパークの中核として研究シーズと企業ニーズのマッチングを図ってきた。次年度以降も更に地域経済の活性化の役割を担っていく。

<実施内容>

<p>部署やコーディネーター等の配置</p>	<p>2003（平成15）年、産官学共同研究・事業開発センターを部署として設置。2013（平成25）年8月1日、学内の組織改編により、研究推進機構が本業務を担当し、産官学連携コーディネーターを配置しています。</p>
<p>民間との共同研究の環境、情報交換の場</p>	<p>長浜でのバイオ関連産業クラスターの形成・発展を目指し、長浜サイエンスパーク内の本学・企業シーズを活用しながら必要な事業等を積極的かつ機動的に行い、産業振興及び地域振興に活かしていくための産学官連携のネットワーク組織である「長浜バイオクラスターネットワーク」を本学、長浜市、一般社団法人バイオビジネス創出研究会、長浜商工会議所、浅井商工会、びわ商工会ともに2009（平成21）年5月に設立しました。</p> <p>このネットワーク組織の会長を本学の三輪正直学長が務めており、「長浜アグリバイオプロジェクト」、「長浜環境バイオ創出プロジェクト」、「長浜アカデミックサポートチーム NAST」など、長浜バイオクラスターの形成と発展をめざすプラットフォームの役割を果たしています。</p>
<p>ベンチャー育成・支援</p>	<p>隣接の長浜バイオインキュベーションセンターに入居のベンチャー企業や本学発ベンチャー等への支援活動。</p>

6. 地域社会貢献

【生涯教育事業への協力】

●長浜生涯カレッジ

長浜市生涯学習文化課による地域の生涯学習活動の推進を目的とし、本学が中心となり、講座の検討・講師の派遣、施設提供等で地域の生涯学習の振興に貢献しました。講座全15回のうち、問題発見講座1回、理論学習講座（土曜特設講座）の全5回は本学教員が講師を務めました。「長浜生涯カレッジ」の実施にあたり、大学施設の提供も行っています。

<2017（平成29）年度本学教員担当講座>

問題発見講座				
回	月日	時間	テーマ	講師
1	6/24	13:00-16:00	開講式・植物と環境とのかかわり	学長 蔡晃植
理論学習講座 土曜特設講座				
回	月日	時間	テーマ	講師
1	7/1	13:30-15:30	びわ湖の水を守るためのバイオの試み	准教授 池内 俊貴
2	7/8	13:30-15:30	光で探るバイオ～見える光から見えない光まで～	教授 白井 剛
3	7/22	13:30-15:30	魚のオスメスはどやうやって決まる？	准教授 竹花 佑介
4	11/11	13:30-15:30	メラニン色素細胞の機能を探る～皮膚だけでなく肺や心臓にもいるって本当？	教授 山本 博章
5	11/25	13:30-17:00	サンショウウオの棲む湖北の自然環境・閉校式	教授 齋藤 修

【理科教育への貢献】

●夏休み子ども科学教室

小中学校の夏季休暇中、滋賀県長浜市の小中学生を対象とした科学実験教室を大学にて開催しています。身近な材料を用いて工作などを行い、理科への興味・関心を高めることに貢献しています。

日 時：2017年8月9（水）、10（木）、11（金）の3日間

内 容：小学生向け実験講座「夏休み！子供科学教室」

実験1「いろんな果物で電気を作ろう！」

実験2「太陽から来る宇宙線を見てみよう」

●滋賀県教育委員会「平成29年度滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座」

滋賀県教育委員会の依頼により、県立高等学校生徒を対象に実施しました。

日 時：2017年7月22日(土)

内 容：臨床検査学プログラム講座「臨床検査を体験しよう！～超音波で探る体内の世界&血液細胞を視算する～」

講 師：伊藤洋志准教授、小倉文子助教

日 時：2017年7月29日(土)

内 容：バイオサイエンス学部講座「体験！遺伝子組換え植物の選別とその観察」

講 師：林誠教授、今村綾講師、中川太郎助手

●長浜市自己啓発研修「理科観察実験講座」

長浜市および長浜市教育センター主催により、長浜市幼少中学校の教職員、幼稚園講師、認定こども園の保育教諭を対象に実施しました。

日 時：2017年8月21日（月）

内 容：「理科観察実験」「長浜市小学校理科部会」

●長浜市の公民館企画の受け入れ

長浜公民館「長浜まちづくりセンター」と「養蚕の里」が主催する小学生対象の講座「土曜学び座」で科学実験を行っています。

長浜小・長浜北小学校の児童及び保護者を対象に実施

日 時：2017年12月16日（土）

内 容：「ビタミンといきものの不思議」「おもしろ科学実験」

●「長浜学びの実験室（理系人材育成事業）」

長浜市内の小・中学校等の理科教育の充実を目的に、「長浜学びの実験室」による小中学校生対象の授業では、専任の実験補佐員（準備・実施指導補助）を新たに配置したことで、13小学校及び7中学校の計20校を対象に年間47回（延べ49校）の実験観察授業を実施しました。

【希少生物保護活動】

●田村山生き物ネットワーク

長浜市南部に生息する動植物（特に、希少種のカスミサンショウウオ）の保護を目的に本学教員（齊藤修教授）が呼びかけ住民らとともに2010年11月に立ち上げました。

「田村山生き物ネットワーク」は、長浜市南部田村山周辺の自然と人々の共生を目指すことを目的に、自治会、教育・医療従事者、事業者、行政関係者など地域の幅広い分野の方が連携し、学習会の開催や、カスミサンショウウオが生息する水路の整備、幼生等の保護、保護池の造成などの活動を継続的に行っています。

【地域活動への連携・協力】

<学生の地域連携活動>

湖北地域唯一の4年生大学として、市民からは若い学生の活動に期待が寄せられています。クラブ・サークル団体を中心に地域の行事に積極的に参加しています。また、大学と長浜市民との交流がより広く活発にできるよう、長浜中心市街地での活動拠点として町家キャンパスを設けています。

●クラブ活動「CELL部」の「こども科学実験教室」と「夏休み！親子科学教室」

長浜や彦根の小学校、公民館などから依頼を受けて出張科学教室を行っています。小さな子どもたちに、遊びの要素を交えた科学実験を行い、理科への興味・関心を高めることに貢献しています。また、夏休みには保護者同伴の「夏休み！親子科学教室」も実施しています。

●クラブ活動「ダブルダッチサークル」の公演

長浜市内を中心に公民館、小学校、商業施設などでイベントを開催しています。内容はダブルダッチショーをはじめ、子どもたちへの体験教室など様々な活動を行っています。

●クラブ活動「琵琶湖研究部」の活動

長浜市内をはじめ、湖北地域を中心に活動しており、クラフト体験、外来魚料理の開発、琵琶湖清掃、鮎寿司の漬け込みなど幅広く滋賀のよさを発信するイベントを開催しています。

●学生自主活動「町家プロジェクト」

町家キャンパスを拠点に、学生たちが地域との交流を進めるために立ち上げた自主活動団体です。

2017年度の活動

- ・6月 3日 近江城下町ふるさと祭り（料理出店：フルーツ飴） 曳山博物館前
- ・7月 1日 セタイイベント（短冊を書いてもらう） 長浜バイオ大学町家キャンパス
- ・7月 3日 セタイイベント（短冊を書いてもらう） 長浜バイオ大学食堂前
- ・7月22日 わーくワーク北小タウン（科学実験：スライム） 長浜市立長浜北小学校
- ・7月29日 長浜夏まつり（料理出店：唐揚げ、フランクフルト、タピオカジュース） 曳山博物館前
- ・8月13日 サイエンスカフェ（科学実験：クロマトグラフィー） 長浜バイオ大学町家キャンパス
- ・10月21,22日 命洗祭（料理出店：唐揚げ出店） 長浜バイオ大学
- ・10月28,29日 滋賀ものづくりフェア2017 in 竜王（科学実験：不思議な貯金箱） 竜王町運動公園
- ・11月11日 湯田小フェスタ（科学実験：フロンの噴水 人工イクラ） 長浜市立湯田小学校
- ・11月18日 きのもとぐるぼ市（鍵開け） 明楽寺
- ・12月16日 クリスマスイベント（スノードーム） 長浜バイオ大学町家キャンパス
- ・12月23日 サイエンスカフェ（クリスマスカード） 長浜バイオ大学町家キャンパス
- ・1月14日 地の酒フェスタ（料理出店：もつ鍋 牛筋煮込み） 長浜パウビル

●長浜北小学校PTAへの協力 「わーくワーク北小タウン」に学生が参加

- ・2017年7月22日（土） CELL部による科学実験「スライム作り」を開講

●しごとチャレンジフェスタ「科学者体験教室」（滋賀県、滋賀県教育委員会他）

- ・2017年10月28（土）、29（日）「科学体験教室」を開講

●「滋賀県ものづくりフェア2017」（厚生労働省、滋賀県技能振興コーナー）

- ・2017年10月28（土）、29（日）「科学実験、不思議な貯金箱」を開講

●サイエンスカフェ

環びわ湖大学・地域コンソーシアム、大学地域連携課題解決支援事業2017「理系人材を育てる“サイエンスカフェ”の開催」が採択されました。

CELL部、町家プロジェクト、動物研究サークルなど学生団体が、町家キャンパスを拠点に科学実験や談話会を実施しました。

<大学の地域連携活動>

●滋賀県・長浜市のNPO法人等との連携による地域振興事業

・「いきいき健康フェスティバル」開催の施設提供と講座の実施

2017年5月28日にNPO法人O次クラブ主催の健康フェスティバルを大学として後援し、実行委員として実施準備、施設提供、出展参加の協力を行った。本学教員による「こどものサイエンス」や臨床プログラムのポスター紹介、野外ステージやブースでは、吹奏楽部、ダンス部、ダブルダッチサークル、CELL部の学生サークルによる活動が行われました。

●長浜人の地の酒プロジェクト

長浜地域のリデザインと活性化に寄与することを目的に、元酒米農家や酒蔵などと提携したプロジェクトとして今年で4年目を迎え、銘柄「純米吟醸 長濱」を発売しています。

長浜魅力づくりプロジェクトでは、学生が企画・運営する「地酒フェスタ+脱出ゲームin長浜」1月14日に開催し、地元商店街や県内の酒蔵など多くの市民の皆さんの協力のもと、商店街の賑わい創出に貢献しています。

●梅酒プロジェクト

北近江の新しい特産品の開発、商品化を行い、長浜・北近江の地域活性化を目的に、地元の南高梅を用いた梅酒を産学官の地域連携により企画・製造・商品化を行いました。

梅酒ソムリエの指導のもと学生が主体となり、梅酒のよる地域おこし活動に取り組みながら商品を完成させ「地の酒フェスタ」で発売を開始し大好評となりました。

将来的には、長浜盆梅と長浜梅酒の双方の魅力が相乗的な効果を生み出すことを目指しています。

●「TANAKAMIこども環境クラブの実験指導

大津市南部の田上地域を活動拠点に生き物調査・自然体験活動を行っている児童・生徒が本学教員の指導のもとメダカの実験に取り組んだ。実験結果については、世界湖沼会議の青少年会議で発表される予定です。

●田村駅周辺整備ワークショップの開催

田村駅周辺整備基本計画の策定に向けたワークショップを学内で開催した。駅が単なる駅舎

機能を持つだけでなく、人の集まる拠点として機能するよう駅周辺を含めた利用しやすい周辺整備計画に反省させるため、19名の学生が出席し活発な意見交換を行いました。

●地域連携推進の取り組みを掌握・学内外への情報発信

本学教職員・学生が取り組む地域連携・社会貢献の活動についての情報を集約し、本学ホームページや学園通信「めいこう」において地域活動の取り組み記事を随時掲載し情報発信を行いました。

●大府商工会議所役員研修

会員企業等の代表者約30名が来学し、本学の教育・研究・社会貢献や地域連携活動の取り組みについて研修を行った。研究室紹介では、複数の研究室を訪問し、担当教員の説明や研究成果について熱心に耳を傾けていました。

<学生団体による地域貢献活動>

●長浜曳山祭りに曳き手として参加（4月14、15日）

毎年4月に地元長浜市で開催される長浜曳山祭りには、命洗祭実行委員会とクラブ活動団体の学生がボランティアで参加し、地域の文化振興に大きく貢献しています。

●近江城下町ふるさとまつりへの参加（6/3）

町家プロジェクト、琵琶湖研究部、ハンドメイドサークルなどが飲食ブースに出店しました。

●長浜なつまつりに参加（7月29日）

命洗祭実行委員会、町家プロジェクト、グラフィック研究会が飲食ブースを出店しました。

●湖北PR体験「湖北まるごとマネキンチャレンジ」（7/29他）

学生有志16名が長浜青年会議所に協力し、地域紹介イベントに参加しました。

●子ども長浜学（8/18）

CELL部が長浜市内公民館で小学生対象の科学実験を行った。

●コホクビジネスアカデミ（8/19、9/18、9/23）

長浜青年会議所が「えきまちテラス」で開催されたイベントへの協力を行いました。

●LOVE FOR KOHOKU（8/26）

長浜青年会議所まちづくり委員会が豊公園一帯で開催したイベントに学生有志が参加しました。

●湯田小フェスタ（11/11）

長浜市立湯田小学校PTA主催イベントに町家プロジェクトが参加し、小学生対象の科学実験を実施しました。

●六荘健康フェスティバル（11/12）

六荘地区地域づくり協議会による公民館でのイベントにグラフィック研究会が体験ブースを出店しました。

●きのもと・ぐるぽ市（11/18-、19）

木之本自治会女性部による長浜市明楽寺で開催されたイベントに町家プロジェクトが体験ブースを出店しました。

●「わくわく学習会」での小学校対象実験講座

豊郷町立豊郷小・日栄小に学生自主活動団体が出向き、夏休み中の子どもたちに自主学習を中心とした理科実験を行いました。